

## 4. 観光

### (1) 観光とは

観光とは、余暇時間の中で、「触れ合い」「学び」「遊ぶ」ことなどを目的とするもので、時代とともに多様化しています。観光は、旅先の風景や観光スポット等を見るだけでなく、教育やスポーツ、健康等のテーマ性の強い体験型の新しい旅行も、観光の一つのかたちと考えます。

本区における観光振興は、自然や社会環境と共生すること等に留意し、様々な観光のかたちを通じてだれもが気軽に楽しめ、区民と来訪者の交流を生み出し、地域に活力を与え、まちに対する愛着や誇りを醸成することをねらいとします。

### (2) 現状と課題

#### ① 環境変化に柔軟に対応した新たな観光スタイルの確立

区はこれまで、東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会の開催を見据え増加が見込まれる外国人観光客の受入環境を整備するため、ボランティアによる観光案内や日本文化体験等のインバウンド（訪日外国人客）事業を推進してきました。

しかし、新型コロナウイルス感染症の拡大により、外国人観光客は激減し、国内においても外出自粛制限等により、本区の観光事業も深刻な影響を受けています。

インバウンドの回復の見通しが立たない中、感染リスクを抑え、だれもが安全・安心に観光を楽しむことができる受け入れ体制の整備が求められます。

また、参加型とオンライン型を融合させた新しい観光スタイルの取組をはじめ、マイクロツーリズムの視点を取り入れた地域資源の開発や磨き上げを推進し、訪れる側も受け入れる側も楽しめ、区内周遊を高める観光サービスの充実を図る必要があります。

今後は、観光需要の状況を見極めつつ、インバウンドの回復を見据えた取組も段階的に進めていくことが重要です。

## ② 観光資源の活用による新たな魅力の創出

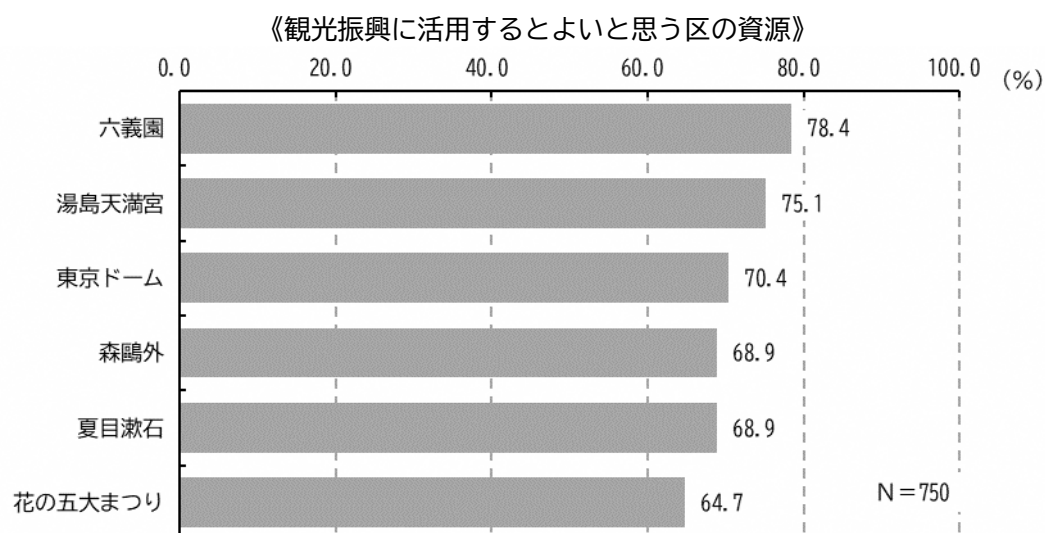
本区には、特別名勝である庭園や由緒ある寺社、史跡等が数多くあるほか、東京ドームや本区のランドマークでもあるシビックセンター等、豊富な観光資源に恵まれています。

実態調査では、観光振興に活用するとよいと思う区の資源として、「六義園」(78.4%)、「湯島天満宮」(75.1%)、「東京ドーム」(70.4%)、「森鷗外」・「夏目漱石」(ともに68.9%)、「花の五大まつり」(64.7%)が上位に挙げられており、文化、スポーツ分野等との連携が期待されています。

今後は、こうした資源のさらなる活用や、文化芸術、スポーツ等、他分野との融合による新たな観光ルートの提案、ストーリー性の付加等により、その価値を高めていく必要があります。

また、本区には、来訪者の知的好奇心を満たし、気軽に本区の魅力に触れられるガイドツアーが充実しています。

引き続き、国内外からの来訪者をおもてなしの心で迎えられるよう、多様な人材による観光ボランティアの充実を図るとともに、オンラインツアーやガイドツアーの動画配信等、ボランティアの新たな活躍の場を提供することが求められます。



【出典】文京区（令和元年度）「実態調査」

### ③ 区内観光の情報の収集・活用による来訪促進

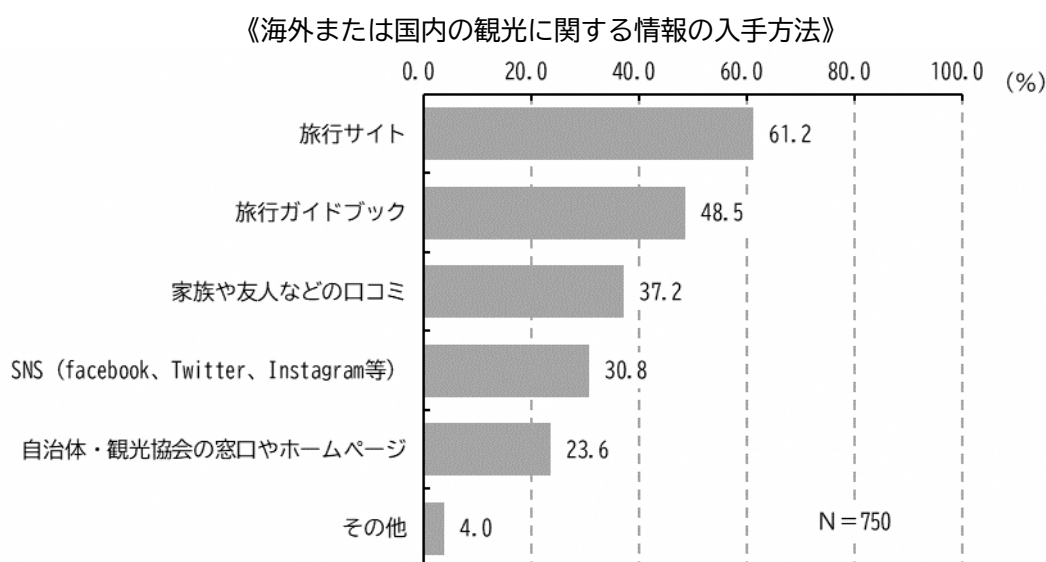
区ではこれまで、区内の観光情報や飲食店を紹介する観光ガイドマップやグルメマップを作成し、形状の見直しや掲載内容の充実化等により利便性の向上に努めてきました。

また、若者や外国人等への対応として、多言語版に加えWEB版の作成にも取り組んでいます。実態調査でも国内外の観光情報の入手方法として、「旅行サイト」が61.2%で最も高く、パソコンやスマートフォンなどによるICTを活用した情報収集が浸透していることがうかがえます。今後さらなる活用が見込まれることから、いつでも・どこでも情報を入手できるようなプラットフォームを構築し、区内の観光情報の一元化を図っていくことが求められます。

また、SNSの活用は、情報発信・共有のツールとして若者や外国人の間で主流になっており、口コミを誘発することでも注目されています。今後は、こうしたツールを積極的に活用し、区内在住・在学の外国人等を取り込んだ新たな視点による情報発信を展開していく必要があります。

一方、実態調査では、「旅行サイト」に次ぐ観光情報の入手方法として、「旅行ガイドブック」(48.5%)、「家族や友人などの口コミ」(37.2%)も上位に挙がっていることから、引き続き手軽に観光情報を入手できる紙媒体による情報発信も必要です。

区内の旬な情報や来訪者の好奇心を喚起する情報等を収集しつつ、様々な情報発信ツールを使い分けながら、だれもが気軽に情報を享受できる環境を整備し、本区への関心や認知度を高め、来訪を促進することが重要です。



【出典】文京区（令和元年度）「実態調査」

#### ④ 交流・連携・協力による新たな観光事業の推進

区では、国内 13 自治体と協定等を締結するとともに、海外の姉妹都市・友好都市等との交流を進め、国内交流事業や国際交流フェスタ等を通じ、互いの地域の魅力を高め合い相互理解の推進に取り組んできました。

引き続き観光交流交歓やイベント等を通じ、本区との関係性を一層深めていくことが必要です。

また、スポーツや文化芸術等、他分野との連携・協力を促進し、観光と他分野を結び付けた新たな事業展開を推進していくことも重要です。

区民と来訪者等の交流機会を増やし、関係人口や交流人口を創出することにより、両者の「文の京」への愛着を育み、再来訪や消費拡大につなげる必要があります。



#### 現状と課題のまとめ

- ①環境変化に柔軟に対応した新たな観光スタイルの確立
- ②観光資源の活用による新たな魅力の創出
- ③区内観光の情報の収集・活用による来訪促進
- ④交流・連携・協力による新たな観光事業の推進

### (3) 施策体系の考え方

区民の観光への理解と協力を得ながら、だれもが、いつでも、どこでも、文の京を楽しみ、愛着を感じ、満足度を高めることができる観光のまちづくりを進めます。

また、区独自の観光資源を新たに発見し、育み、活かしつつ、区民と来訪者等との交流を深める中で来訪者の満足度を高め、何度でも訪れたいくなる、持続可能な関係性を構築します。

さらに、新型コロナウイルスをきっかけに改めて求められている安全・安心な観光のあり方のさらなる追求と、観光振興との両立を図り、参加型とオンライン型を活用したハイブリッドによる観光スタイルを確立します。

### (4) 施策体系

観光分野の施策体系は以下のとおりです。

基本方針	施策
① 区内まるごと周遊の促進	
	ア 観光資源の磨き上げと新たな魅力の創出
	イ マイクロツーリズムの推進による周遊性の向上
② いつでも、どこでも世界をつなぐ観光情報・魅力の収集・発信・共有	
	ア 観光情報の収集・発信力の充実と共有促進
	イ 情報発信環境の整備
③ つながりから生まれる観光の推進	
	ア 他分野（スポーツ、文化芸術等）との融合
	イ 国内外の協定等締結自治体や近隣自治体等との連携・協力
④ 何度でも訪れたいくなるおもてなしの環境整備	
	ア 観光客の受入基盤整備
	イ 多様な人材の育成・活用

## (5) 基本方針ごとの具体的な取組

### 1 区内まるごと周遊の促進

本区の多彩な観光資源を継承し、磨き上げ、地域の魅力を高めます。また、区民や来訪者、外国人等の様々な視点や他分野との連携、ICTを活用した観光促進等により、独自の観光資源を創出し、育み、持続可能な観光を推進します。

指標	現状値	目標値
文京区の他者推奨意向	84.1% (令和元年度)	85.0%

注) 現状値は、「文京区アカデミー推進計画に関する実態調査」(令和元年度)での「あなたは、文京区を訪れた観光客(国内・外問わず)に対して、文京区のみちを紹介したいと思いますか。」という設問への「紹介したい」と「どちらかといえば紹介したい」の合計値。

#### ア 観光資源の磨き上げと新たな魅力の創出

本区の新たな魅力を創出し、区民や来訪者が参加型やオンライン型の選択可能な取組を推進します。また、従来から観光振興において活用してきた名所・旧跡、文人や花の五大まつり等の本区が誇る多彩な観光資源に触れるための事業を様々な主体とともに実施することで、区内観光に新たな一面を見出し、より一層の誘客促進につなげます。




文京つつじまつり(根津神社)

#### 主な取組

##### ■ 区内の魅力を発見するためのイベントの開催

本区への来訪意欲の向上と新たな観光ニーズを掘り起こすため、区内にある観光資源を新たな目線で発見し磨き上げ、誘客につながるイベントを開催します。

#### 【分野間連携】

- 本区ゆかりの文人や博物館・美術館等の文化資源を活用した、地域の魅力を高める事業に取り組みます。 

##### ■ 観光資源の多面的な活用

新たな魅力創出を図るため、従来とは異なる角度から区内の観光資源を活用します。

### イ マイクロツーリズムの推進による周遊性の向上



区内に点在する観光資源・拠点をエリアや分野等の視点でつなぐことにより、来訪者の周遊性を高め、新たな魅力の創出を図ります。エリア内の複数の施設とコミュニティバス、ガイドツアー等を一体的・有機的に結びつけることで、観光客の誘引を促し、地域の活性化につなげます。

#### 主な取組

#### ■多様なニーズに対応した区内周遊ルートの提案

来訪者一人ひとりのニーズに対応するため、コミュニティバスBーぐるを活用して効率的に名所を巡るルートや文化の香りをじっくり味わうルート、徒歩・自転車での周遊による健康増進・ウェルネスルート等を検討します。

#### 【分野間連携】

- これまでの観光ルートに加え、スポーツや文化芸術等の要素を取り入れたルートを提案し、区内の一体的な周遊を促進します。  

## 2

いつでも、どこでも世界をつなぐ  
観光情報・魅力の収集・発信・共有

本区の情報を多様な媒体を通じて国内外に発信し、旅マエ・旅ナカ・旅アトのいつでも、どこからでも手軽に必要な情報を入手できる環境を整え、本区に対する関心や来訪意欲を高めます。また、区民や来訪者、外国人等が、区の観光資源等に関する情報を共有し、自発的な情報発信を促すことで、区の観光情報の発信力を底上げします。

指標	現状値	目標値
文京区観光協会のホームページの新規ユーザー	44,115 件 (令和元年度)	50,000 件

## ア 観光情報の収集・発信力の充実と共有促進

様々な人に向けて、多彩な情報を発信するための環境を整えます。区及び観光協会も積極的に観光情報の収集を行い、観光前（旅マエ）のお薦めスポット・グルメ等の紹介、観光中（旅ナカ）の来訪者の情報収集への対応等の充実化を図ります。また、観光後（旅アト）の訪れた人によるスポットへの感想やおすすめ情報の発信・共有等、旅マエ・旅ナカ・旅アト情報の拡充を図ります。同時に、区民や来訪者、外部の人たちからの SNS などを通じた情報共有の促進、拡散に向けた取組にも注力します。

## 主な取組


## ■各主体と連携した観光情報の収集・発信力の充実

区全体の観光情報の収集・発信力向上のため、観光協会のホームページのコンテンツの充実や SNS の活用を促進します。また、協定等締結自治体とも連携し、相互の観光 PR に努めます。

## ■区民や来訪者等の共感の輪を広げる情報の発信

若い世代や外国人の来訪や誘客につなげるために、旅マエ・旅ナカ・旅アトのいつでも入手可能な情報発信に取り組むとともに、情報の共有・拡散に向けた働きかけを行います。

## 【分野間連携】

- 多くの外国人の関心を引き、拡散を誘引するため、区内在住・在学の外国人に働きかけ、外国人目線による情報発信を行います。 



### イ 情報発信環境の整備

区内の観光情報の集約化・充実化を進めるとともに、インターネット上で区内の観光施設等の情報が検索されやすくなるように働きかけを行います。また、観光ガイドマップ・グルメマップの多言語化・WEB化、及び観光インフォメーションでの情報発信等をさらに充実させ、区内観光の情報発信力を強化します。

#### 主な取組

#### ■観光情報の多言語化・WEB化や観光インフォメーションの機能強化

正確かつ最新の情報提供を可能とするため、観光情報の多言語化やWEB化を推進するとともに、区観光インフォメーションでの情報収集・サービスの充実を図ります。

### 3

## つながりから生まれる観光の推進

これまで交流機会が少なかったスポーツや文化芸術等、他分野との関係性を深めるとともに、国内外の協定等締結自治体や近隣自治体等とより一層の交流を促進していくことにより、横断的な取組を推進していきます。様々な連携・協力によりもたらされる、これまでとは異なる視点や発想を観光施策に活かし、新しい「文の京」の観光につなげます。

指標	現状値	目標値
協定等締結自治体との連携実績	57件 (令和元年度)	70件

### ア 他分野（スポーツ、文化芸術等）との融合

観光×スポーツ、観光×文化芸術、観光×サブカルチャー等の視点からの事業展開により、これまで区内観光に関わりが薄かった潜在的な来訪者層との接点を持ち、新たな来訪者の獲得につなげます。

#### 主な取組

#### ■他分野との連携・融合による事業展開

新規来訪者の創出に向け、スポーツと連携した健康増進や文化と連携した知的好奇心を喚起する等のテーマ別での観光提案やアニメ・ゲーム等の聖地巡礼等、潜在的な来訪者層をターゲットにした事業を展開します。

### イ 国内外の協定等締結自治体や近隣自治体等との連携・協力

国内外の協定等締結自治体や近隣自治体等と連携・協力して、食や文化等を通じた交流を図ることで、区民と来訪者とのつながりや区内観光へのきっかけを提供するとともに、交流人口の増加を図ります。



文京さくらまつりへの交流自治体の出店  
(播磨坂さくら並木)

#### 主な取組

#### ■広域連携・協働事業の実施

自治体や企業・団体等と文化、観光、商業などに関する交流や様々なテーマでのイベント等を実施します。

#### 【分野間連携】

- ▶ 国内交流自治体や海外の姉妹都市・友好都市との交流機会の創出やその自治体・都市と連携したイベント等を実施します。 

## 4 何度でも訪れたいくなるおもてなしの環境整備

だれもが安心して快適に区内観光を楽しめる受入環境を整備します。また、多様な人材によるボランティアを育成し、おもてなしの心を醸成することで、区民はもとより国内外からの来訪者が本区に愛着を感じ、再訪したくなる、受け入れ体制を整えます。

指標	現状値	目標値
「だれもが観光に訪れたいくなるまちを支える仕組みをつくること」への満足度	区民:38.9% 事業参加者:76.0% (令和元年度)	区民:50.0% 事業参加者:81.0%

注) 現状値は、「文京区アカデミー推進計画に関する実態調査」(令和元年度)での「だれもが観光に訪れたいくなるまちを支える仕組みをつくること」への満足度に関する設問への「満足である」と「どちらかといえば満足である」の合計値。

### ア 観光客の受入基盤整備

ICTの進展に対応するために無料公衆無線LANを整備するとともに、バリアフリー化の推進、コミュニティバスの運行や自転車シェアリング事業等の実施により、来訪者の利便性向上を図り、だれもが安心して快適に区内観光を楽しめる基盤を整えます。

#### 主な取組

##### ■旅行者の利便性向上を図る事業の推進

旅行者の現地での情報収集・発信等における利便性の向上や、安心して区内観光を楽しむための環境を整えるため、無料公衆無線LANやキャッシュレス化等を推進します。

## イ 多様な人材の育成・活用

多様化する来訪者や今後回復が見込まれる外国人観光客のニーズにきめ細やかに対応するため、区内在住・在学の外国人等、多様な人材によるボランティアガイドの育成・活用を推進し、日本語とともに外国語による情報発信や観光案内等の強化を図ります。



文京区観光ガイドツアー

### 主な取組

#### ■多様な観光ニーズに対応できる観光ガイドの充実

国内外の観光客に本区の魅力を伝え、関心を高めてもらえるよう、本区の歴史や文化、観光等に精通した多言語によるボランティア観光ガイドの充実を図ります。

#### 【分野間連携】

- ▶ 多様なガイドツアーを提供し、参加者の選択肢を広げることにより、これまで参加機会が少なかった人へのきっかけづくりを行います。 